

石巻市総合交通計画における評価方法について

1 石巻市総合交通計画の推進方法

石巻市総合交通計画については、石巻市地域公共交通活性化協議会（以下、「協議会」という。）の管理のもと、着実な事業実施（D）、個別事業や計画全体の検証・評価（C）、個別事業及び計画全体の見直し（A・P）を行うこととします。

特に「個別事業や計画全体の検証・評価（C）」については、基本目標の達成状況を確認するための「アウトカム指標」及び事業実施による短期的な効果等を評価するための「アウトプット指標」に基づき、アウトカム指標は計画最終年度、アウトプット指標は毎年度数値を整理することで、各事業の実施状況及び達成状況の評価・検証を行います。

協議会による検証の結果、「見直しが必要」とされた場合には、計画の改定に向け、見直しを必要とする理由等の要因分析を行い、適切に改善や事業計画の検討を行います。

表 年度ごとの実施内容

項目	本計画の計画期間					次期計画
	2022年 (令和4年)	2023 (令和5年)	2024 (令和6年)	2025 (令和7年)	2026 (令和8年)	2027 (令和9年)
事業実施(D)						
モニタリング・評価(C)						
個別事業の検討・見直し (A・P)						
計画全体の見直し(P)						改定

2 アウトプット指標の評価方法

目標の達成状況（資料 1－2）を踏まえ、施策展開の方向性ごとに、話し合いの上、協議会として適切だと思う評価を以下評価基準（A～D）から選択してください。

なお、参考に項目ごとの達成度を◎（100%以上）○（80～99%）△（50～79%超）×（49%以下）で記載しており、方向性ごとの評価について、市の内部評価をA～Dで記載しております。

施策展開の方向性ごとの評価がC・Dとなった施策を推進するための意見や提案などがありましたら、次ページの意見書に御記入の上、令和8年9月11日（金）までに事務局（石巻市企画部地域振興課）宛て御提出願います。

※ いただいた意見書は、議事録と共にホームページで公表する場合があります。

評価基準	
A：順調	：施策の達成度が◎、○のみ
B：概ね順調	：施策の達成度が◎、○の合計 $\geq$ △、×の合計かつ×の数が1つ以下の場合
C：やや遅れている	：評価基準A、B、Dに当てはまらないもの
D：見直しが必要	：施策の達成度が△、×のみ

石巻市企画部地域振興課 行

E-mail: islocpromo@city.ishinomaki.lg.jp
FAX: 0225-90-8043

令和 年 月 日

提出期限：令和8年9月11日（金）

委員名：

石巻市総合交通計画に基づく各施策に対する意見書（令和7年度事業）

施策展開の方向性		意見記入欄
1	移動しやすさ・アクセス性の向上	
2	公共交通を待ちやすい利用環境の確保	
3	公共交通志向型の都市への転換に向けた仕組みづくり	
4	公共交通に関する情報提供の多様化・デジタル化	
5	公共交通の安定的な運営に向けた基盤の確保	

石巻市総合交通計画に基づく目標の達成状況

No	施策展開の 方向性	具体施策	アウトプット指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値 (令和8年度)	令和7年度			最終目標 達成率	前年比	達成度 (項目ごと)	内部評価 (方向性ごと)	外部評価 (方向性ごと)
			項目	算出方法	現況値	実績値	実績値	実績値	実績値	内容	目標達成率						
1	【方向性1】 移動しやすさ・ア クセス性の向上	施策1-1: 利用し やすい公共交通 ネットワークの構 築 施策1-2: 利用し やすい公共交通 システムの確保	路線網の市全体の公共 交通体系の統合に向けた 検討回数(会議)	公共交通の見直し等に向けて着実に 推進することとし、協議に関する会議 の開催件数を目標値として設定。	—	9回	12回	8回	5回/年	7回	・地域公共交通活性化協議会の開催(2回) ・交通事業者会議の開催(4回) ・河南地区の見直しに向けた検討会議の開 催(1回)	140.0%	—	-1回	◎	B (概ね順調)	
2			路線バスの運行時間の 見直し(拡大)を検討した 路線数	市内の路線バス12路線において、住 民の帰宅時などに使いやすいダイヤ とするため、運行時間を拡大する見 直しを実施した路線の数を目標値とし て設定。	—	3路線	4路線	0路線	1路線/年	1路線	・運転手不足に伴い全体として減便となっ たが、石巻免許センター線は、往復1便ず つの増便となった。	100.0%	—	+1路線	◎		
3			市街地主幹軸における同 方向等間隔サービス(パ ターンダイヤ)の路線数	市街地主幹軸においては、パターン ダイヤ(あるいは運行間隔の平準化) を図ることを目標として、沿線の路線 数を目標値として設定。	0路線	0路線	7路線	7路線	最終目標 5路線	7路線	・令和5年度にパターンダイヤ導入済	—	140% (7路線)	±0路線	◎		
4			運賃制度の改正に向けた 検討回数(会議)	路線バスや住民バス等に係る運賃制 度の見直しに向けて着実に推進する こととし、協議に関する会議の開催件 数を目標値として設定。	—	3回	4回	2回	3回/年	4回	・交通事業者会議の開催(4回) ・令和8年度から運転免許証返納者支援事 業をタクシーと住民バス等に拡大	133.3%	—	-2回	◎		
5			交通系ICカード等の キャッシュレス決済に対 応した公共交通の路線の 割合	鉄道3路線、航路2路線、路線バス12 路線、住民バス等10路線の計27路線 に対するキャッシュレス決済の対応状 況を目標値として設定。 ※2022年(令和4年)時点の対応状況 は鉄道1路線(仙石線)及び路線バス 12路線(全路線)	48.1% (13/27)	48.1% (13/27)	48.1% (13/27)	48.1% (13/27)	最終目標 100%	48.1% (13/27)	・離島航路におけるキャッシュレス決済導入 に向け網地島ラインと協議を実施した。 ・タクシー事業者へ決済端末を導入するた めの補助制度の活用可能性を検討した。 ・住民バス等については必要性について再 検討する。	—	48.1% (13/27)	±0%	×		
6	【方向性2】 公共交通を待ち やすい利用環境 の確保	施策2-1: 待合環 境等の案内や情 報提供の充実	情報発信や案内等に係る ガイドラインの作成	○施策2-1に示す情報発信や案内等 に関するガイドラインの確実な作成を 目指し、作成した件数を目標値として 設定。	—	1件	1件	1件	最終目標 1件	1件	・令和4年度内にガイドラインを作成済	—	100.0%	±0件	◎	C (やや遅れてい る)	
7			ガイドラインに沿って案内 が設置された駅・バス停 の数	○施策1-1で設定する中核拠点・都 市拠点・交通結節点においては、最 低限案内・情報発信の機能を充足す ることを目標として、中核拠点1箇所・ 都市拠点4箇所・交通結節点9箇所の 計14箇所を目標値として設定。	0箇所	0箇所	1箇所	3箇所 (3/14)	最終目標 14箇所	3箇所 (3/14)	・石巻駅、北上総合支所・元気いちば(3箇 所) ・石巻駅(中核拠点)に乗場案内サイン・デ ジタルサイネージを運営 ・いしのまき元気いちば付近にデジタルサイ ネージ	—	21.4% (3/14)	±0箇所	×		
8		施策2-2: 待合環 境等の利用しや すさの改善	ベンチや上屋を新たに設 置したバス停の数	○市街地・郊外部に関わらず、一定 程度の利用が多いバス停において待 ちやすい環境を確保するため、ベンチ や上屋を新たに設置した数を目標値 として設定。	—	0箇所 (単年)	4箇所 (単年)	0箇所 (単年)	2箇所/年 (最終目標 10箇所)	0箇所 (単年)	・新規設置個所なし	0.0%	40.0% (4/10)	±0件	×		
9			鉄道駅の駐輪場の改良 箇所数	○鉄道駅において屋根などの設置に より、改良された駐輪場の箇所数を 目標値として設定。 ※石巻あゆみ野駅の駐輪場の環境 が目標	—	1箇所 (単年)	0箇所 (単年)	0箇所 (単年)	1箇所/年 (最終目標 5箇所)	0か所 (単年)	・改良箇所なし	0.0%	20.0% (1/5)	±0箇所	×		

達成度(項目) ※単年度目標と最終目標が両方ある場合は、最終目標で達成度を判定する。

- ◎ 100%以上
- 80～99%
- △ 50～79%
- × 0～49%

石巻市総合交通計画に基づく目標の達成状況

No	施策展開の 方向性	具体施策	アウトプット指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値 (令和8年度)	令和7年度			最終目標 達成率	前年比	達成度 (項目ごと)	内部評価 (方向性ごと)	外部評価 (方向性ごと)
			項目	算出方法	現況値	実績値	実績値	実績値	実績値	内容	目標達成率						
10	【方向性3】 公共交通志向型の 都市への転換 に向けた仕組み づくり	施策3-1: 他分野 と連携した都市 構造の構築	公共交通サービスにより アクセス可能な中核拠 点・都市拠点の数	○中核拠点として設定する石巻駅、 及び都市拠点として設定する4拠点、 合計5拠点を目標値として設定。	5拠点	5拠点	5拠点	5拠点	最終目標 5拠点	5拠点	・各交通モードにより、5拠点へのアクセスを 維持	—	100.0%	±0拠点	◎	B (概ね順調)	
11			都市計画分野や道路政 策分野と連携した会議開 催数	○都市計画課や道路課などをはじめ として、都市政策・道路政策を推進す る各課と、公共交通の連携した取組 等の検討や、情報共有等を行う会議 の開催件数を目標値として設定。	—	2回	3回	3回	1回/年	1回	・都市計画課と総合交通計画改定に向けた 会議開催	100.0%	—	-2回	◎		
12		施策3-2: 公共交 通に対する市民 意識の改善	市民とのテーマ別の意見 交換会の開催件数	○高齢者や障がい者、高校生などの 移動に制約があり、移動手段確保に 問題等を抱える可能性が高い層を中 心に、公共交通等に関する意見交換 会を開催することとし、開催件数を目 標値として設定。	—	1回	1回	1回	1回/年	1回	・石巻西高校と協働し総合的探求の時間に 希望生徒数名に「JR石巻線の利用者を増 やそう」というテーマで企画検討を行い発表 していただいた。	100.0%	—	±0回	◎		
13			市が実施するモビリティマ ネジメントの実施箇所数 (本庁・支所など)	○市が主体となり、市職員を対象とし て先行的に実施するモビリティマネジ メント(実施した本庁・支所などの拠点 単位)を目標値として設定。	—	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所/年	1箇所	・市職員を対象とした公共交通利用促進 デーの実施	100.0%	—	±0箇所	◎		
14			市が支援するモビリティマ ネジメントの実施事業所 数	○市が支援しながら、モビリティマネ ジメントを実施する企業・団体等の実 施事業所数を目標値として設定。	—	0事業所	0事業所	0事業所	1事業所/年	0事業所	・令和6年度に市内の企業・団体を訪問し、 市の取組を周知するチラシを配布したが協 力いただけなかったため、令和7年度は具 体のモビリティマネジメントの手法を再検討 した。	0.0%	—	±0事業所	×		
15	【方向性4】 公共交通に関する 情報提供の多 様化・デジタル 化	施策4-1: 運行情 報等のわかりや すさの改善	バス運行情報(経路・ダイ ヤ)などの市報等による 住民への周知回数	○運行情報の更新に合わせて住民 へ周知を図ることを目標とし、市報等 により市が住民へ情報等を周知した 回数を目標値として設定。	—	1回	1回	1回	1回/年	1回	・住民バスのダイヤ等の改正に伴い関係地 区住民にチラシを全戸配布した。	100.0%	—	±0回	◎	B (概ね順調)	
16			路線番号を付与した路線 の割合	○路線バス・住民バス等に対して、路 線番号・アルファベットの表記などを 実施した路線数を目標値として設定。	—	0.0%	0.0%	0.0%	最終目標 100%	0.0%	・実施の必要性について再検討する。	—	0.0%	±0%	×		
17		施策4-2: 公共交 通に関するデジ タル情報の充実	市内の全ての公共交通 モードにおいてGTFS-JP での運行情報の作成・更 新の体制の構築件数	○鉄道・航路・路線バス・住民バス等 の4つの公共交通モードにおける GTFS-JPでのデータ整備・更新を行う 体制の構築件数を目標値として設 定。	1交通モード (1/4)	2交通モード (2/4)	3交通モード (3/4)	3交通モード (3/4)	最終目標 4交通モード (鉄道、路線バ ス、 航路、住民バス 等)	3交通モード (3/4)	・航路のみ未対応 ・航路のGTFS-JP データ作成に向け、網地 島ラインと協議した。	—	75% (3/4)	±0交通モー ド	△		
18			主要な経路検索コンテン ツでの市内公共交通の対 応状況	○主要な経路検索コンテンツ(P.24参 照)における市内公共交通4モードの 対応状況を目標値として設定。 ※総合交通計画P.24の表を全て○と すること(100%)が目標	55.0% (11/20)	60.0% (12/20)	80.0% (16/20)	90.0% (18/20)	最終目標 100%	90.0% (18/20)	・ナビタイムとGoogleマップの航路のみ未対 応	—	90.0% (18/20)	±0%	○		
19	【方向性5】 公共交通の安定 的な運営に向け た基盤の確保	施策5-1: 運行に 係る財源等の適 切な確保	国や県に対する公共交 通の確保・維持に係る財源 の要望活動	○公共交通の確保・維持に対する財 源を適切に確保するため、国や県に 対して市として財源を要望した回数を 目標値として設定。	1回	1回	1回	1回	1回/年	1回	・宮城県(知事及び議長)への要望活動(航 路関係)	100.0%	—	±0回	◎	A (順調)	
20		施策5-2: 公共交 通に関するデジ タル情報の充実	乗務員確保に向けた求人 情報等の市報への掲載 などによる周知活動	○交通事業者の乗務員確保に向け て、事業者が発行する求人情報を市 報などに掲載した件数を目標として設 定。	—	0回	2回	4回	2回/年	2回	・路線バス・タクシードライバー運転手、航海 士募集チラシを市ホームページ・フェイス ブックで周知	100.0%	—	-2回	◎		
21			公共交通等の安全運行 に関する研修会の開催	○市が鉄道・路線バス・住民バスなど を運行する交通事業者や、カーシェア リングなどの移動サービスを運行する 主体に対して研修会を開催した件数 を目標値として設定。	—	0回	1回	1回	1回/年	1回	・交通安全大会を開催	100.0%	—	±0回	◎		

達成度(項目) ※単年度目標と最終目標が両方ある場合は、最終目標で達成度を判定する。

- ◎ 100%以上
○ 80～99%
△ 50～79%
× 0～49%